

連携都市間の連携について

東日本連携を契機に実施された事業

(みなかみ町✳️南魚沼市
✳️さいたま市)

(1) 甦れ、自分。みなかみヘルスツーリズム

(南魚沼市✳️さいたま市)

(2) 雪を利用した熱中症予防対策

(上田市✳️三条市
✳️みなかみ町)

(3) スポーツコンテンツを活用した連携

(金沢市✳️さいたま市)

(4) Jリーグチームによる連携

(金沢市✳️さいたま市)

(5) 修学旅行誘致における連携

(会津若松市✳️さいたま市)

(6) 教育旅行誘致による連携

(1)「甞れ、自分。みなかみヘルスツーリズム」

(みなかみ町×南魚沼市×さいたま市)

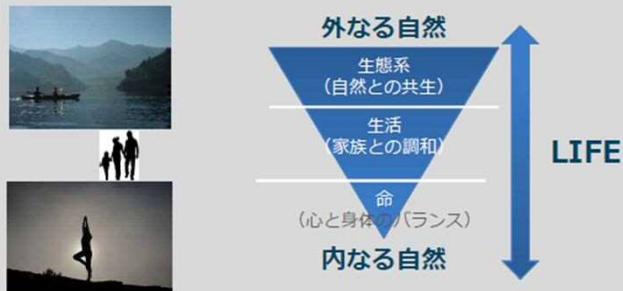


1 事業の目的

連携都市の魅力的な観光資源をヘルスツーリズムをテーマに商品化し、連携都市において健康経営に取り組む企業者に提供する仕組みを作る。

みなかみヘルスツーリズム コンセプト

GO WILD for our LIFE !



都市生活者が「内なる自然」
Bio (生命) rhythm (リズム)
をチューニングするための
自然豊かなフィールド

みなかみヘルスツーリズムで開発している3つの要素 (左) 大切にしている3つの要素 (右)

- 1 運動**
本来の身体性を回復させる
みなかみの自然の中で行うさまざまな運動やウォーキングやサイクリングは、自律神経の働きを助けて、身体性の回復を促します。また、ヨガやエクササイズ、心身を休ませ、身体が回復を促します。
- 2 休養**
高質な睡眠・休養が健康につながる
自然の中で休養すること、自然の中でゆっくりとした時間を過ごすことが、高質な睡眠、回復を促します。自然の中で休養すること、心身を回復させます。また、休養を促すことで、健康回復を促します。
- 3 栄養**
身体の内から整える
みなかみの自然の中で休養することによって、身体が自然に回復します。また、自然の中で休養することによって、身体が自然に回復します。また、自然の中で休養することによって、身体が自然に回復します。
- 4 継続**
継続することで、心身の状態をより良くする
運動や休養、自然の中で休養すること、自然の中で休養することによって、心身の状態をより良くします。また、自然の中で休養することによって、心身の状態をより良くします。
- 5 シェア**
言葉にすることで自己認識される
自然の中で休養することによって、心身の状態をより良くします。また、自然の中で休養することによって、心身の状態をより良くします。
- 6 計測**
自律神経の計測により、心身の変化を可視化
自律神経バランスの計測を行うことによって、自律神経の働きを可視的に把握することができます。また、自律神経の働きを可視的に把握することができます。

2 事業の実施状況

「温める」をテーマに自然豊かな「みなかみ町」のフィールドで温泉旅館に滞在しながら、特別に考案された「回復プラン」を検証するモニターツアーを実施した。



スノーシュー体験(2時間程度)ゆるめのコースで



夕食(みなかみボルシチ)



目覚めのヨガ(朝)体験



昼食(玄米餅の麺汁 冬野菜たっぷり)



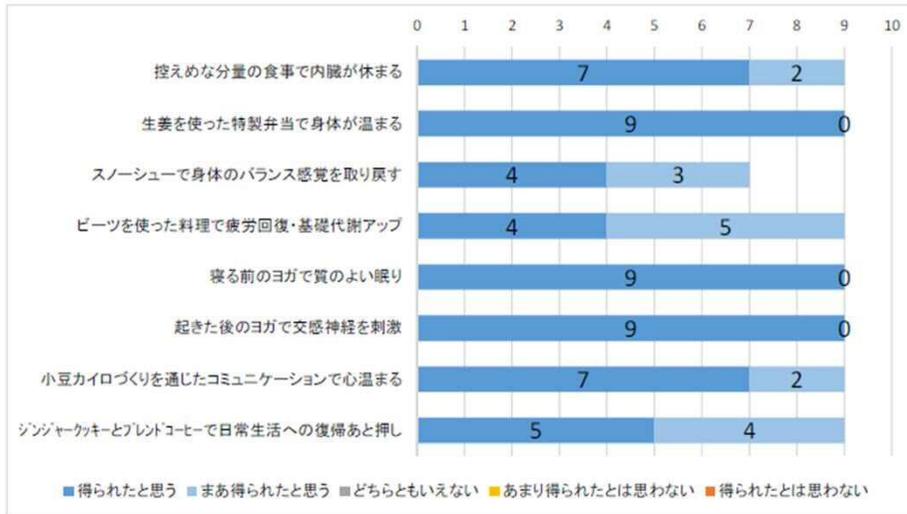
小豆のカイロ作り体験

時間	行程
11:00	【オリエンテーション】・全体の流れなどの説明
11:30	【朝食】・玄米餅の麺汁お椀～冬野菜たっぷり入り
12:30	【着替え】スノーシューができる服装に
13:00	【宿出発～アウトドア会社送迎車にて】
13:30	【スノーシュー】・2時間程度のゆるめのコースで実施
15:45	【現地出発～アウトドア会社送迎車にて】
16:00	【宿に到着】・ウェルカムドリンク提供・館内の案内(温泉・ドリンク・夕食)
	【各自、入室し入浴】
17:00～	【りんごの生搾りジュース～地元みなかみ産のりんご】
	・熱が加わらない特別なジュースで搾る生ジュース 素材の味を♪
18:00	【夕食】・メインは「みなかみボルシチ」他、ピーズを多用したライトミール
20:15	【ヨガ体験】
23:00	【消灯(推奨)】

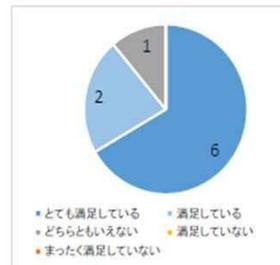
時間	行程
8:30	【朝のヨガ】
10:00	【ランチ】・アイオープナーとして、前日のジュースでりんごジュース(推奨)
	・メインは「中華がゆ」
	※ランチ提供は10時から11時まで。お好きな時間にどうぞ。
	※起きられない方・寝ていたい方は、食べなくても大丈夫
11:45頃	【荷物移動】
12:00	【小豆カイロ作り】
	・電子レンジがロビーに＝実際に温めて使用する体験はロビーで
	・希望する方は、追加料金でもう一つ作ることが可能
13:30	【ティータイム】
	・コーヒー、紅茶、カモミール入り桑茶の中から好きなものを
	・お茶うけにジンジャークッキー&ふきのとうチュイル

3 成果

Q. 今回の宿泊プランを通じ、次のような効果は得られると思いますか。プログラムごとにお答えください。



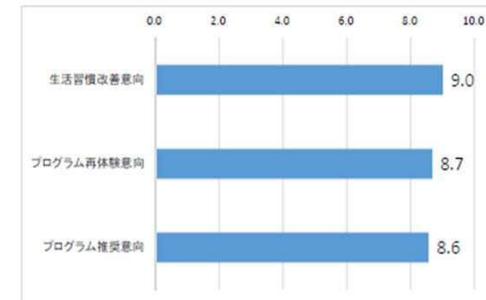
Q12. 今のお気持ち



Q13. 今後、ご自身の生活習慣を改善したいと思いますか。

Q14. 今後、今回の宿泊プランに参加したいと思いますか。

Q15. 今後、今回の宿泊プランをご家族・お友達に紹介したいと思いますか。



※各質問、10（そう思う）～0（そう思わない）の10段階で回答。参加者9名の平均を算出した。

4 今後の展望

「東日本連携のヘルスツーリズム」は連携各都市が持つ魅力ある旅行商品を集めたものではなく、「健康」の切り口に特化し編集したものとして整理することで、連携各都市の企業における健康経営の取組として仕上げていきたい。

(2)「雪を利用した熱中症予防対策」

(南魚沼市×さいたま市)

1 事業の目的

- 東京2020オリパラに向けて、サッカー及びバスケットボールの来場者用暑さ対策としてテストマッチにおいて雪を活用。
- 「東日本連携による雪を活用した熱中症予防対策実証事業」として環境省の事業に採択され実施。



スノーパック

2 事業の実施状況

会場	埼玉スタジアム2002	さいたまスーパーアリーナ
日程	8月4日(日)	8月25日(日)
競技	サッカーJ1リーグ 浦和レッズVS名古屋グランパス	バスケットボール日本代表 (男女)
雪のクーラー (テント冷房)	約3,000人	約2,000人
スノーパック	約6,000個	約7,000個
その他	ミストファン、WBGT値計測	ミストファン、WBGT値計測 雪の滑り台(1年前イベント連携)

雪のクーラー



3 成果

	埼玉スタジアム2002			さいたまスーパーアリーナ		
雪のクーラー	外気温		冷房テント	外気温		冷房テント
最大温度差	42.9°C		20.9°C	39.9°C		28.1°C
最高外気温	43.9°C		26.9°C	39.9°C		28.1°C
WBGT値	平均	最低	最高	平均	最低	最高
日なた	31.2°C	29.8°C	32.4°C	29.2°C	28.4°C	30.1°C
冷房テント	23.7°C	21.8°C	24.9°C	23.6°C	22.7°C	24.5°C

4 今後の展望

令和2年度に向けて、内容や規模について協議を行い、大会本番での実施をめざす。

(3)「スポーツコンテンツを活用した連携」

(上田市 × 三条市 × みなかみ町)



1 事業の目的

概要

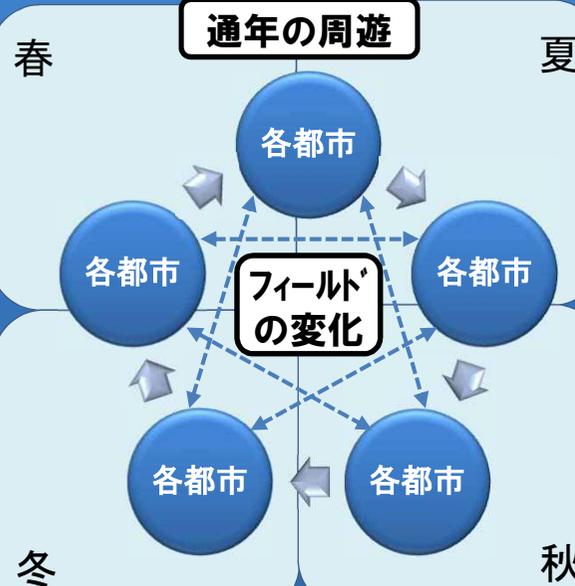
各都市の取組

地域固有の
スポーツコンテンツ活用

★スポーツツーリズム
の推進
(観光誘客・インバウンド)

地域の活性化
を目指す

東日本各都市で行われる
アウトドアなど同系列ス
ポーツコンテンツを集約し東日
本全体の魅力としてPR



★継続性のある
スポーツツーリズムの推進

- ① 連携各都市間の
対流創出
- ② 新たな参加者の
獲得

2 事業の実施状況



三条市 MT.AWA



上田市 太郎山



みなかみ町 奈良俣ダム

三条市(4/20~21)、上田市(5/3~5)、みなかみ町(6/1~2)各都市で開催されたスカイランニング大会で、各大会のポスター等を展示。参加者、地元の大会関係者にそれぞれの大会の魅力、地域の魅力をPRした。

3 成果

各大会の参加者には、外国人も多く、特に三条市は世界大会であり、世界のトップランナーに東日本各地のPRができた。スポーツコンテンツを活用することにより、大会を運営する地域の方との繋がりができた。

4 今後の展望

今後も大会の告知等を連携して行うことにより、開催都市間の人の対流、参加者の拡大が期待できる。今年12月には、大宮で日本スカイランニング協会とも連携し、トップアスリートとの交流などによるイベントを開催し、首都圏へのPRも実施する。

(4)「Jリーグチームによる連携」
(金沢市×さいたま市)



1 目的

スポーツツーリズムの推進

スポーツを通じた地域活性化
「観るスポーツ」「応援するスポーツ」

大宮戦での観光PR

アウェイサポーターおもてなし



- ・ツエーゲン戦の観戦者数増加
- ・観戦＋観光(1泊)促進

2 事業の実施状況

○10月12日(土)大宮アルディージャ vs アビスパ福岡戦
台風19号の影響でNACK5スタジオで予定していた金沢市の
プロモーションは中止

○11月24日(日)ツエーゲン金沢 vs 大宮アルディージャ戦

- ・石川県西部緑地公園陸上競技場アウェイゲートにおいて大宮サポーターをお出迎え
- ・金沢駅鼓門をアルディージャチームカラーにライトアップ
- ・大宮グッズ提示で金沢市文化施設入館料を割引



3 今後の展望

現在、J1～3のうち、東日本連携市に本拠地を置くチームは12チーム。さいたま市と金沢市だけでなく、他の連携市にも波及させることにより、スポーツツーリズムを通じた東日本連携市間の交流人口の拡大を図りたい。



(5)「修学旅行誘致における連携」

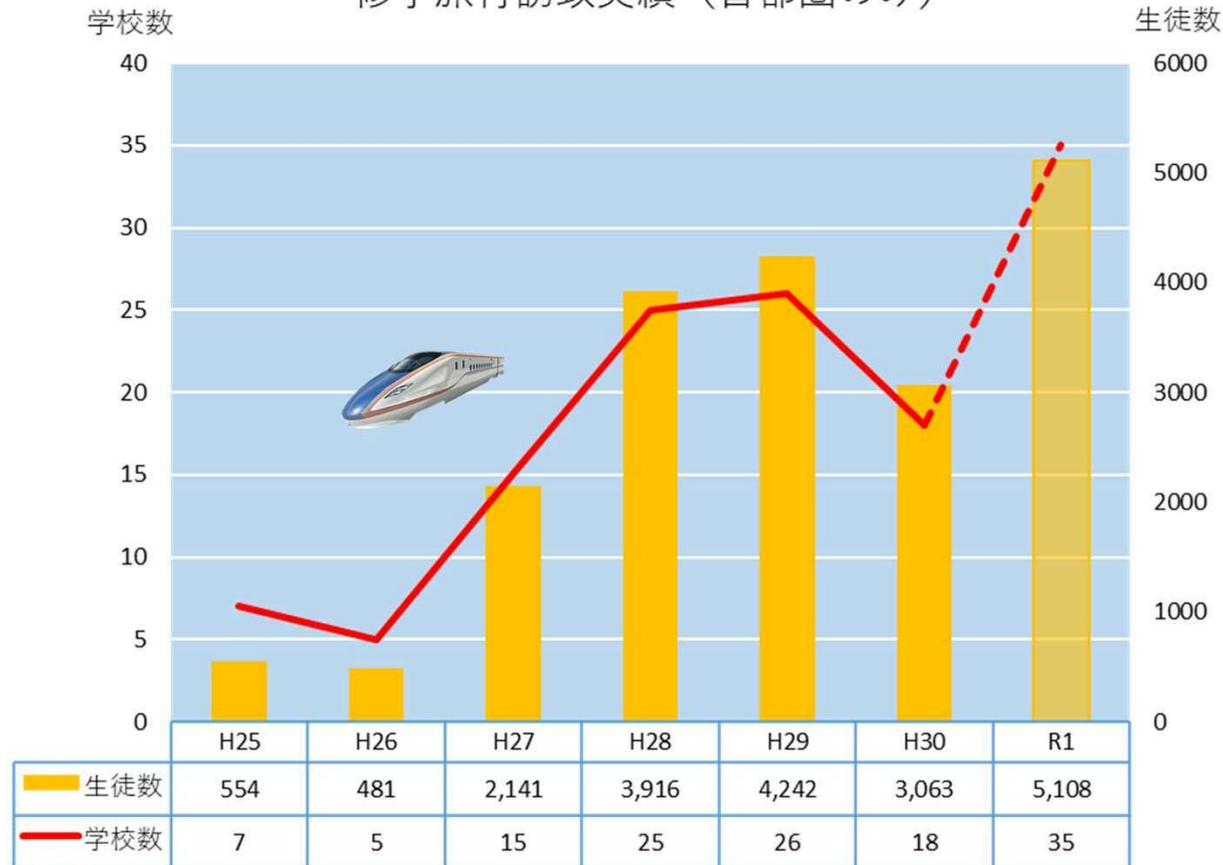
(金沢市×さいたま市)



1 修学旅行誘致実績

北陸新幹線開業2年前より、首都圏の修学旅行誘致に取り組んでおり、実績を伸ばしている。

修学旅行誘致実績（首都圏のみ）



2 金沢ならではの修学旅行

「ほんもの」体験（補助制度あり）

- 金箔、和菓子製作、茶道などの伝統文化体験
- 加賀宝生能や金沢芸妓などの伝統芸能体験



城下町の風情や文化的景観

- 重要伝統的建造物保存地区（ひがし茶屋街、寺町寺院群等）
- 兼六園、金沢城公園等



3 今後の展望

さいたま市をはじめ、首都圏から金沢への修学旅行件数を増やし、交流人口の拡大、将来のリピーター獲得、地域経済の活性化につなげたい。

さいたま市校長会での金沢市長によるプレゼンテーション

①日程：令和元年11月7日（木）

②会場：さいたま市教育研究所



金沢駅でのお出迎え



金沢駅鼓門前での記念撮影



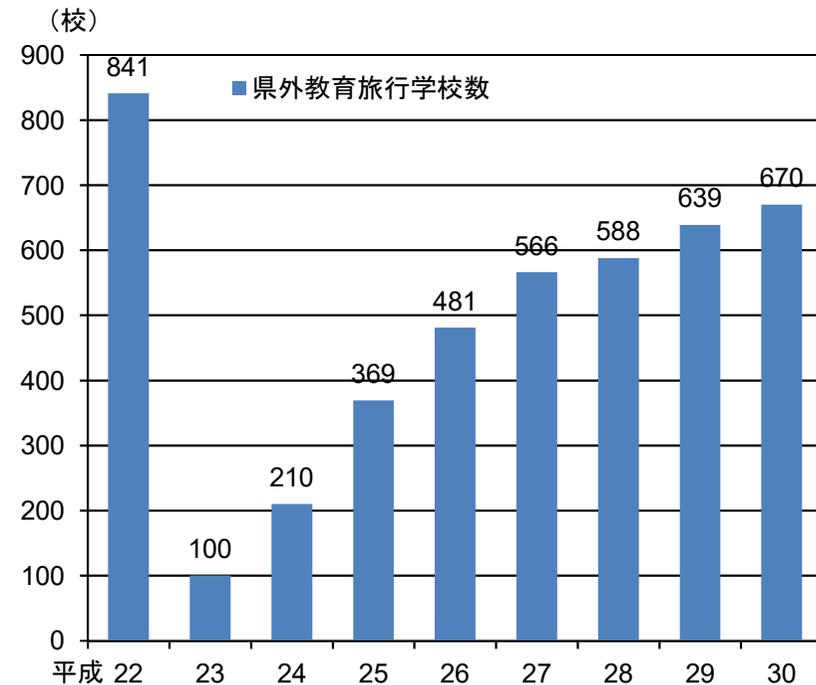
金沢市長が歓迎あいさつ

(6)「教育旅行誘致による連携」

(会津若松市 × さいたま市)

1 事業の目的

・東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の風評被害により、県外から教育旅行で会津若松市を訪れる学校は平成22年度の841校から100校まで減少しました。その後、様々な取組により、平成30年度670校（震災前80%）まで回復しています。



・さいたま市と会津若松市との連携協定に基づき、さいたま市協力のもと、教育旅行プロモーションを行い、さいたま市内の学校における教育旅行の候補地として、会津地域の歴史、文化、自然などを活かした魅力的な教育旅行を提案し、本市教育旅行の振興を図ることを目的とします。

2 事業の実施状況・成果

【内容】 さいたま市校長会の会議において教育旅行誘致プロモーションを実施しました。

【日程】 令和元年10月9日(水)
さいたま市教育研究所

【対象】 さいたま市立小学校(104校)

【成果】 さいたま市立の全小学校が一堂に会する中で、効果的にプロモーションを実施することができました。今後は、学校あてに依頼したアンケートを基に、訪問先として関心を持っていただいた学校に対し、魅力ある提案をさせていただくことで検討しています。

